

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	社会福祉法人すぎのこ会 ひまわり 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	令和6年12月2日		～	令和6年12月21日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	35	(回答者数)	31
○従業者評価実施期間	令和6年12月2日		～	令和6年12月21日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数)	9
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年2月13日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者に対し、その日に行った療育の内容を丁寧に説明している	定期的な面談の他、毎回の療育の後にも家や園での様子も聞きながら情報共有に努めている	保護者だけでなく、園や保健師、相談員等の関係機関とも連携を取りながら情報共有に努め、より良いサービスに繋げていく
2	回数は少ないが、保護者参加の行事を行っている	実際行っている療育の様子を見たり体験してもらう他、職員が保護者との関わり方を見る事で必要に応じてアドバイスをしている	希望があれば回数を増やしていく 職員だけでなく、保護者同士の交流の機会を設ける

3	子供達が楽しく通えている	スモールステップで成功体験を積み上げ、自信に繋げる様にしている 出来なかった事も否定せず、出来たところに目を向ける様にしている	苦手な事も好きな事を通して興味を惹きながら少しずつ挑戦してみたいと思う気持ちを育くんでいく
---	--------------	--	---

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	職員数が足りていない時がある	療育や支援の時間帯が一時的に集中してしまうことがある	支援量が多くなる時間帯の職員確保や連携 日誌等、記録に関わる時間の効率化
2	建物の構造上、照明が暗かったり、寒暖差が大きい	鉄筋コンクリート造り、設計の関係で一定の温度を保つことが困難 また、利用児の安全を考慮することで、冷房、暖房器具を設置することが難しい	使用用途やサービス内容に応じて、可能な箇所、範囲で改修を行う
3	職員の力量によって療育内容に差がある	関係機関との交流、専門的知識を学ぶ機会が少ない 統一した療育、支援内容を組み立てるツールが整備できていない	他事業所との連携や勉強会、研修等に参加することで職員のレベルアップ、サービスの質の向上を図る 支援ソフト、プログラム教材サイトの導入を検討する